

自動ダンパ 6ADシリーズ

取扱説明書

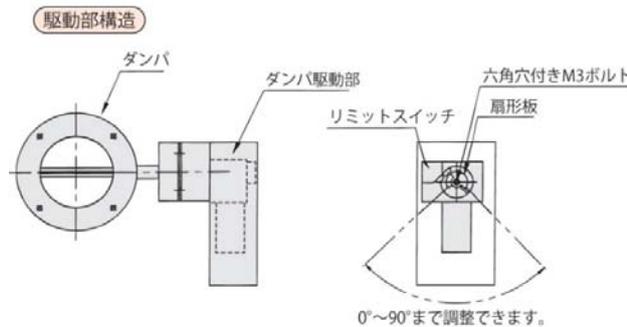
株式会社 関西電熱

OP-002 作成日: 2024年4月

1. 仕様、及び構造

- 定格電圧 DC24V
- 出力軸トルク 0.59N・m
- 消費電流 1A以下
- 回転時間 0.7秒/90°
(出荷時の角度は全開、全閉に調節しています。)
- 耐熱温度 駆動部: 周囲温度 $-5^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$
接気部: 気体温度 250°C
(駆動部を水平より下向きの場合、接気部 350°C)

- ※ 使用通過風速は 15m/s 以下を推奨します。
- ※ 全閉状態でも完全にエアは遮断できません。



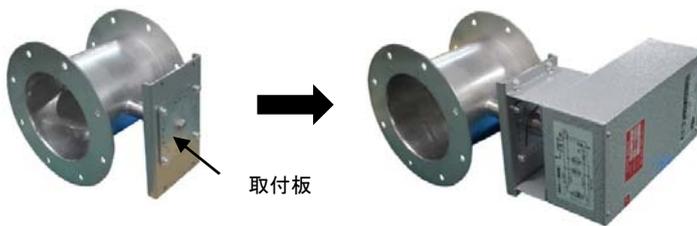
注意: ダンパ角度を変更する場合は、扇形板を $0^{\circ}\sim 90^{\circ}$ の範囲で調整してください。

2. 取り付け

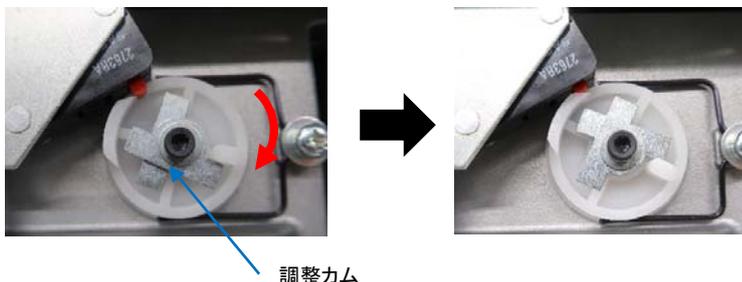
- ① 自動ダンパには取り付け方向の制限はありません。全方向に取り付け可能です。
- ② 自動ダンパにはエアの流れる方向の指定はありません。
- ③ 自動ダンパは両側のフランジを利用して、しっかりと固定してください。
- ④ 自動ダンパは周囲温度 $-5^{\circ}\text{C}\sim+40^{\circ}\text{C}$ の雰囲気を設置してください。また、屋外で風雨にさらされる場所、腐食雰囲気、爆発性雰囲気、可燃性雰囲気等には設置できません。
- ⑤ 自動ダンパに供給する流体は $0^{\circ}\text{C}\sim 250^{\circ}\text{C}$ までの気体としてください(液体、蒸気等は供給しないでください)。なお、駆動部が水平より下側の場合のみ、 350°C までの気体を供給できます。
- ⑥ 自動ダンパの駆動部は取付位置を変更できます。

《取付位置変更方向》

- ① ダンパ駆動部を取り外してください。
- ② 取付板を取り外し、方向を変更して再度取り付け、ダンパ駆動部を取り付けてください。



- ③ ダンパ駆動の蓋を開けて、調整カムを 90° 回転させてください。

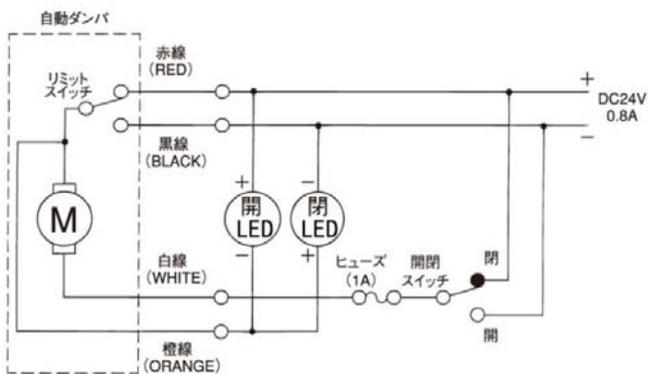


- ※ ダンパ駆動部取付位置を 180° 変更する場合は、調整カムの調整は必要ありません。

3. 配線

① 下記、接続図に従って、自動ダンパの回路を組んでください。

《接続図》



※ ダンパの開閉稼働中にDC電源の供給を切り換え、及び停止しないでください(必ず3秒間は開閉信号を供給し続けてください)。

- 自動ダンパが閉状態から、DC24Vを赤線(+)、白線(-)に供給すると、自動ダンパは開になり、リミットスイッチが黒線側に切り替わります。
- 自動ダンパが開状態から、DC24Vを白線(+)、黒線(-)に供給すると、自動ダンパは閉になり、リミットスイッチが赤線側に切り替わります。
- 橙線は自動ダンパの開閉状態を極性を有するLEDで表示する場合にご使用ください。

《注意》

ダンパの保護として、必ず駆動回路にはヒューズ(AC125V/250V 1A)を組み込んでください。ヒューズを組み込まない、または1Aを超えるヒューズを組み込んだ場合、ダンパの保護ができず、モータ部が損傷する可能性があります。

4. 開閉角度調節方法

- 出荷時はダンパの開閉角度は、全開—全閉(90°)で調節しています。ダンパの開閉角度は必要に応じて調整できます。

当社ホームページにて
実演動画で確認できます。

《ダンパ開閉角度調節方法》

- ① モータ部のフタを開けてください。上下の調整カムの角度が90°に調節されています。

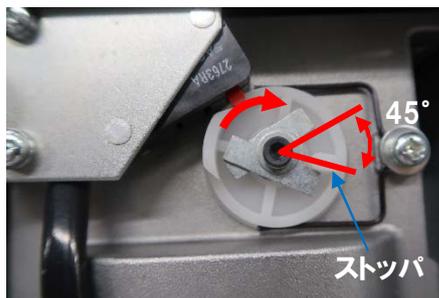


- ② 六角レンチ(対辺2.5)にて反時計回り方向へ緩めてください。

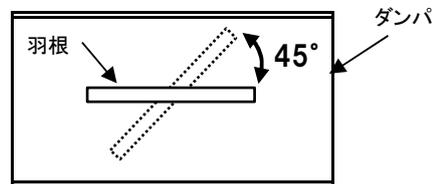


- ③ 上側の調整カムはヘッドカバーのめしにのみ、下側の調整カムのみ任意の角度へ変更してください。

- ④ 角度設定後はしっかりと六角レンチで締めてください。調節した調整カムの角度がダンパの開閉角度となります。



〈調節角度45°の場合のダンパ開閉角度〉



5. 使用上の注意

- ① 自動ダンパはダンパの開閉状態を目盛板にて確認できます。
O → 全開 S → 全閉
- ② ダンパの開閉が経年変化により重くなってきた場合は、摩擦部へシリコングリスを塗布してください。
(塗布方法についてはお問い合わせください。)

